

# 地域 ICT 遠野型健康増進ネットワーク事業

## 施策のポイント

医師不足の中で、参加高齢者に対して ICT 利活用により継続的な健康チェックを実施・記録し、その推移を都市部の医師、地域のコメディカル等スタッフが連携することにより「病気になる前」に適切な予防医療的体制を整え、かつ健康増進を図る。

### 自治体情報

岩手県 遠野市

人口 / 30,455人

標準財政規模 / 10,245,986千円

担当課 健康福祉部市民医療整備室

電話番号 代表 0198-62-5111 内線 50

実施主体 遠野市

関連ホームページ <http://www.city.tono.iwate.jp>

事業期間 平成 20 年度から

参考とした施策

関係施策分類 ⑥<sub>ア</sub>

## 施策の概要

### 1 取組に至る背景・目的

高齢化率33.4%の遠野市は、市内に循環器系の常勤専門医が不在であることから、健康不安を抱えて生活する高齢者が多い。健康不安による過度の医療依存体質を払拭するため、情報通信技術（ICT）を活用して健康情報の集積と共有化を図り、都市部に在住する遠隔参加の専門医の指導のもと地域のコメディカルが連動した効率・効果的な疾病予防と健康づくりを支援するネットワーク化の形成により、新たな健康増進のコミュニティモデルを創出する。

### 2 取り組みの具体的内容

テレビ電話や携帯電話（テレビ電話付）を使って健康情報をデータベースとして集積・共有化し、都市部に在住する遠隔参加の専門医と地域のコメディカルが連動した疾病予防の保健指導等を展開する。

- ・高齢者（65才以上）を主体とした健康づくりの普及。（250人程度見込）
- ・地域の自治会単位で健康づくりのチームによる健康づくり活動の実践。
- ・都市部の遠隔医師の指導とコメディカルの巡回活動。

### 3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・健康志向の行動変容者数80%（参加者ベース）
- ・健康指数改善傾向者50%

### 4 現在までの実績・成果

「健康づくり」を共通点として高齢者が集い、地域でスタッフが支える人との身近なかかわり合いにより、疾病予防と健康維持・増進への行動変容が生まれ、テレビ電話で遠隔指導を受けた参加者の50%以上が安心感を得ている。また、健康増進についてのモチベーション向上も確認された。

### 5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

参加高齢者の健康意識づくりとして、モチベーション向上のため都市部に在住する遠隔医師と地域

のメディカル連携体制により、「健康」を共通点として参加高齢者の主体性と自発性を誘発し、地域で支援スタッフが下支えしながら活動を習慣化させることができた。窮屈な健康づくりとならないよう身近な連帯感の仲間意識を大切にしながら前向きに活動できる環境づくりに心がけた。

## 6 今後の展開と課題

今まで、実証的に一部地域で実施したが、市内一円に活動範囲を拡大し、それに伴い地域の支援スタッフを養成していく必要がある。



### 予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳 (財源区分：①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
9,980千円		0千円	0千円	0千円	8,024千円	1,956千円
①～④の名称、 所管など	名称				長寿社会づくりソフト 事業費交付金	
	所管				(財)長寿社会振興財団	
	金額				8,024 交付金 5,000 他受益者負担 3,024	
	補助率				10 / 10	

提供可能資料：事業概要